

社員ら160人が  
苗木を丁寧に  
ゼストシステムが  
江丹別で植樹

【旭川】ゼストシステム（本社・東神楽）は22日、旭川市江丹別で「第5回環境イニシアチブ植林活動」を行い、1500本のアカエゾマツを植樹した。写真。

同社では、地球温暖化



防止のため「環境イニシアチブ植林活動」を企業理念の一つと定め2007年から4年間で4万2030本を植樹している。同社の間伐材を利用した木製安全掲示板をユーザーが使用することで、ユーザーを活動に巻き込む仕組みで、国土交通省のNETISにも登録された。

今回は、ゼストシステムの製品を日常から使用している建設業者をはじめ、取引関連会社の社員や家族ら160人が参加。紅葉が進む山あいの斜面に小さな苗木を丁寧に植え込んだ。

安井文期社長は「環境に対する社会の関心が高まり、企業にとっても社会貢献は必要なこと」とし、参加者に「これからも自分たちの植えた木を見守ってほしい」と呼び掛けた。